

1. 実施している子育て支援と利用したことのある子育て支援について

今回の調査では、子育て支援の利用・実施と今後充実してほしい支援について、育児中父母調査、保育・教育関係者調査、地域活動グループ調査の三つに共通して調査した。

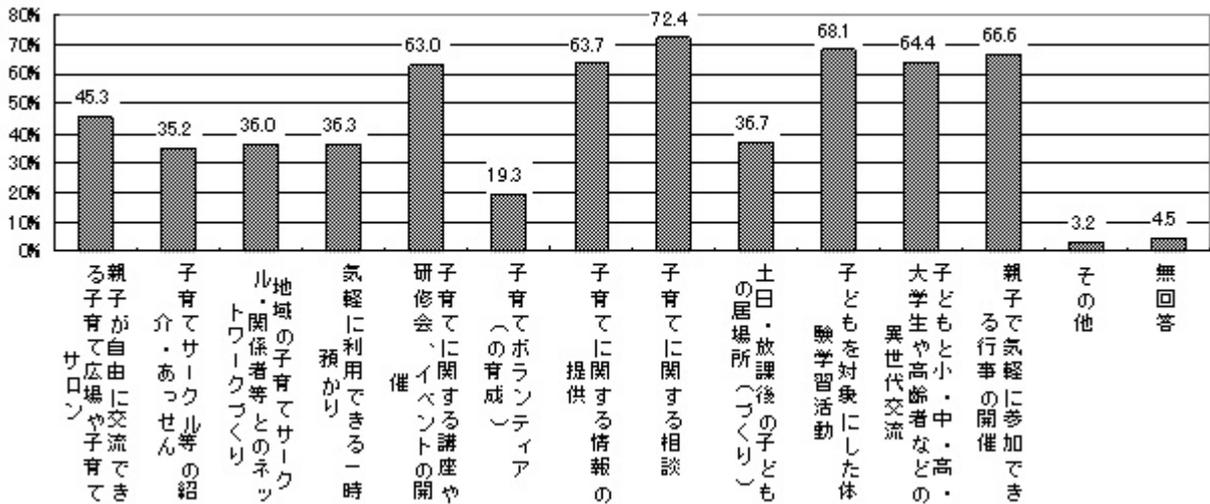
まず、保育・教育関係施設や地域活動グループが現在実施しているサービスと、これらを生子育て中の親や子どもがどれくらい利用しているかを比較する。

(1) 保育・教育関係施設による実施内容

保育・教育関係施設で実施または今後実施予定の子育て支援は、「子育てに関する相談」(72.4%)、「子どもを対象にした体験学習」(68.1%)、「親子で気軽に参加できる行事」(66.6%)、「子どもと小・中・高・大学生や高齢者などの異世代交流」(64.4%)、「子育てに関する情報の提供」(63.7%)、「子育てに関する講座や研修会、イベントの開催」(63.0%)が6割以上で実施されている。

(図表5-1-1)

図表5-1-1 保育・教育関係施設で実施している・今後実施予定の子育て支援 (複数回答 n=662)



保育・教育関係施設による子育て支援の実施について、施設別にみると、保育所では「子育てに関する相談」(82.6%)、「子どもと小・中・高・大学生や高齢者などの異世代交流」(76.6%)、「子育てに関する情報の提供」(73.6%)、「子育てに関する講座や研修会、イベントの開催」(64.9%)、「子どもを対象にした体験学習活動」(62.6%)が6割以上で実施されている。

幼稚園では「子育てに関する相談」(76.0%)、「子どもを対象にした体験学習」(75.2%)、「子育てに関する講座や研修会、イベントの開催」(67.8%)、「親子で気軽に参加できる行事」(65.3%)、「子どもと小・中・高・大学生や高齢者などの異世代交流」(64.5%)、「子育てに関する情報の提供」(63.6%)が6割以上で実施されている。

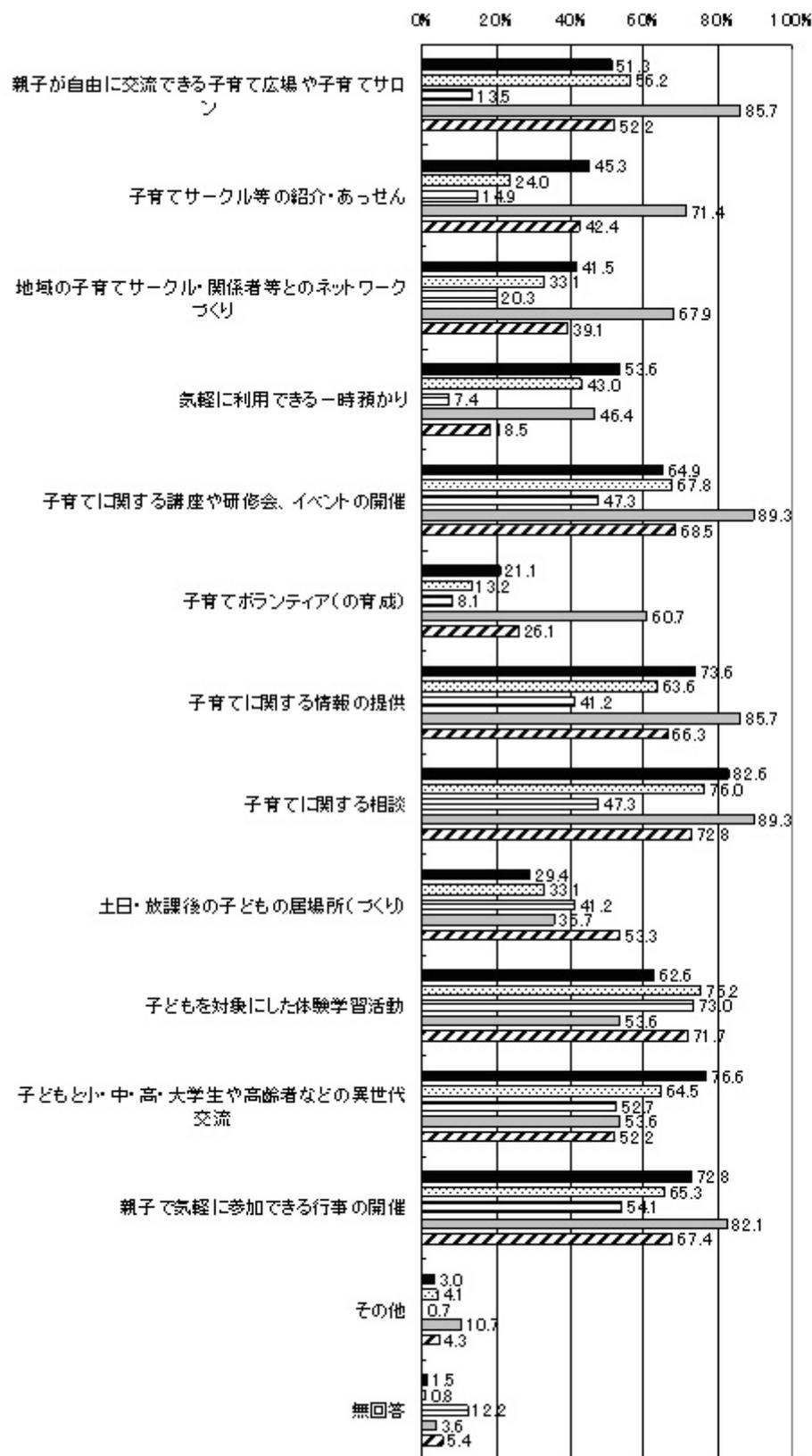
小学校では「子どもを対象にした体験学習」(73.0%)は7割を超えているが、5割を超えて実施されているものは「親子で気軽に参加できる行事」(54.1%)と「子どもと小・中・高・大学生や高齢者などの異世代交流」(52.7%)のみである。

子育て支援センターでは「子育てに関する相談」(89.3%)、「子育てに関する講座や研修会、イベント」(89.3%)、「親子が自由に交流できる子育て広場や子育てサロン」(85.7%)、「子育てに関する情報の提供」(85.7%)、「親子で気軽に参加できる行事の開催」(82.1%)、「子育てサークル等の紹介・あっせん」(71.4%)が7割以上で実施されている。

各施設ごとに実施している割合の低いものをみると、保育所では「子育てボランティアの育成」(21.1%)、「土日・放課後の子どもの居場所づくり」(29.4%)。幼稚園では「子育てボランティアの育成」(13.2%)、「子育てサークル等の紹介・あっせん」(24.0%)。小学校では「気軽に利用できる一時預かり」(7.4%)、「子育てボランティアの育成」(8.1%)、「親子が自由に交流できる子育て広場や子育てサロン」(13.5%)、「子育てサークル等の紹介・あっせん」(14.9%)、「地域の子育てサークル・関係者等とのネットワークづくり」(20.3%)がそれぞれ3割以下だった。子育て支援センターでは「土日・放課後の子どもの居場所づくり」が35.7%で最も低かった。

(図表5 - 1 - 2)

図表5-1-2 保育・教育関係施設で実施している・今後実施予定の子育て支援【施設別】（複数回答）



■保育所(n=265) □幼稚園(n=121) ▨小学校(n=148) ▤子育て支援センター(n=28) ▩その他(n=92)

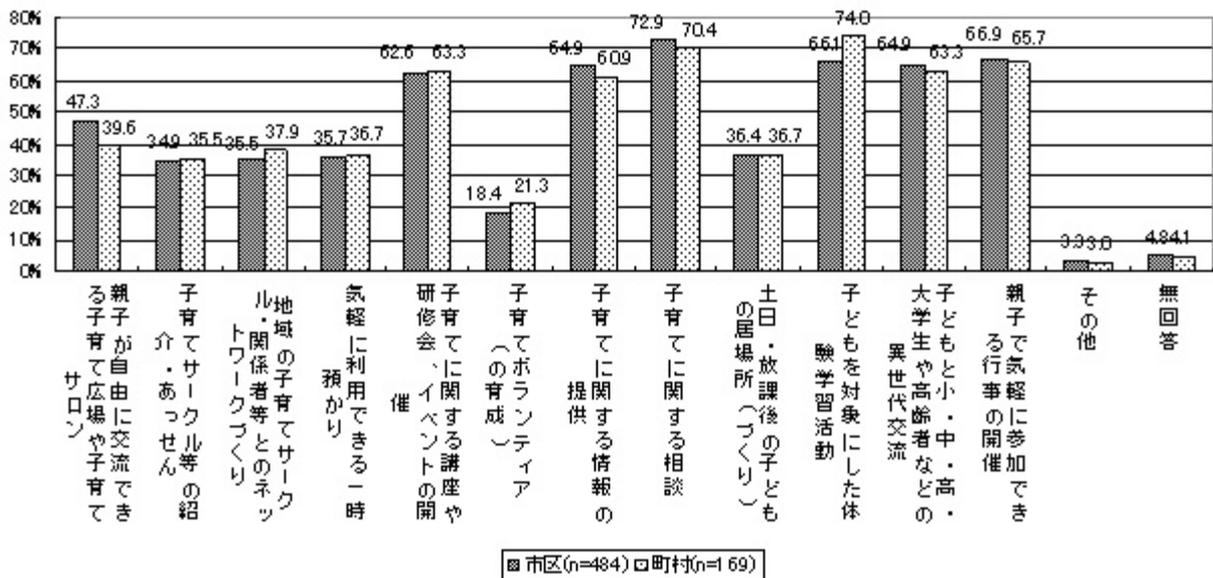
保育・教育関係施設による子育て支援の実施について、施設所在地別にみると、市区部では「子育てに関する相談」(72.9%)、「親子で気軽に参加できる行事」(66.9%)、「子どもを対象にした体験学習活動」(66.1%)、「子どもと小・中・高・大学生や高齢者などの異世代交流」(64.9%)、「子育てに関する情報の提供」(64.9%)、「子育てに関する講座や研修会、イベント」(62.6%)が6割以上で実施されている。

町村部では「子どもを対象にした体験学習活動」(74.0%)、「子育てに関する相談」(70.4%)、「親子で気軽に参加できる行事」(65.7%)、「子育てに関する講座や研修会、イベント」(63.3%)、「子どもと小・中・高・大学生や高齢者などの異世代交流」(63.3%)、「子育てに関する情報の提供」(60.9%)が6割以上で実施されている。

市区部と町村部で若干の差がみられたものは、「子どもを対象にした体験学習活動」が町村部で74.0%、市区部で66.1%と町村部での割合が高く、「親子が自由に交流できる子育て広場や子育てサロン」は市区部で47.3%、町村部で39.6%と市区部での割合が高くなっている。

(図表5-1-3)

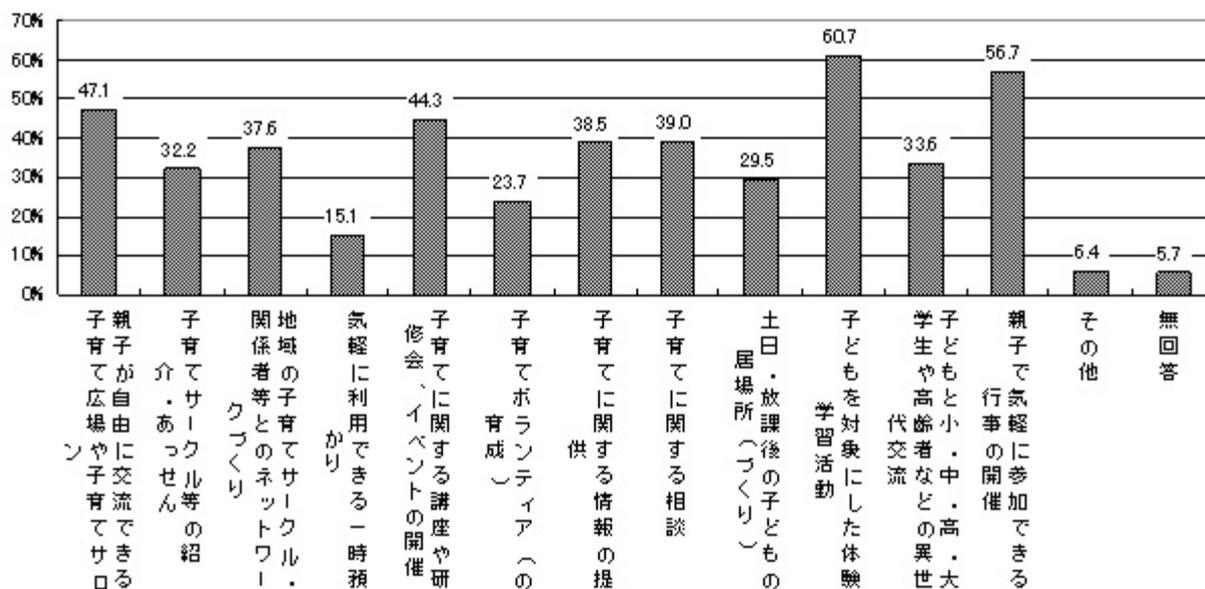
図表5-1-3 保育・教育関係施設で実施している・今後実施予定の子育て支援
【施設所在地別】(複数回答)



(2) 地域活動グループによる実施内容

次に、地域活動グループが現在実施している子育て支援をみると、「子どもを対象にした体験学習活動」が60.7%、「親子で気軽に参加できる行事」が56.7%と5割を超えているものはこの二つだけである。約4割で実施されているものは、「親子が自由に交流できる子育て広場や子育てサロン」(47.1%)、「子育てに関する講座や研修会、イベントの開催」(44.3%)、「子育てに関する相談」(39.0%)、「子育てに関する情報の提供」(38.5%)、「地域の子育てサークル・関係者等とのネットワークづくり」(37.6%)である。「気軽に利用できる一時預かり」は15.1%と最も低かった。(図表5-1-4)

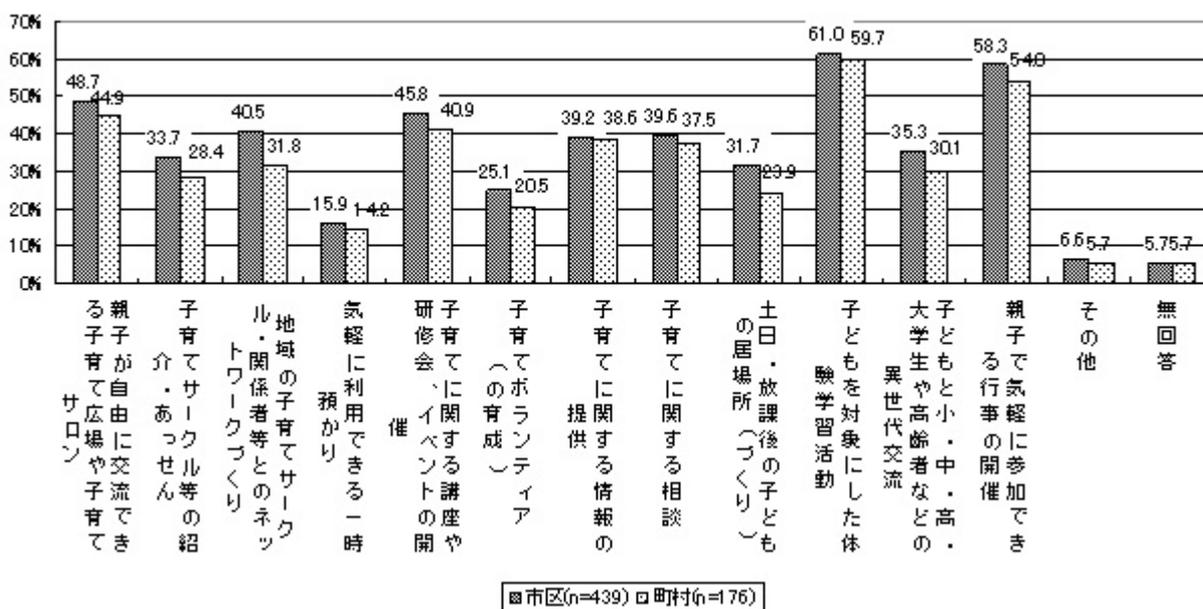
図表5-1-4 地域活動グループで実施している子育て支援 (複数回答 n=628)



地域活動グループの子育て支援の実施について、居住地別にみると、実施している割合が5割を超えている子育て支援は、「子どもを対象にした体験学習活動」(市区部 61.0%、町村部 59.7%)と「親子で気軽に参加できる行事」(市区部 58.3%、町村部 54.0%)だけである。

市区部と町村部で差がみられたものは、「地域の子育てサークル・関係者等とのネットワークづくり」(市区部 40.5%、町村部 31.8%)、「土日・放課後の子どもの居場所づくり」(市区部 31.7%、町村部 23.9%)で実施率に若干の違いがみられた。(図表5-1-5)

図表5-1-5 地域活動グループで実施している子育て支援【居住地別】(複数回答)



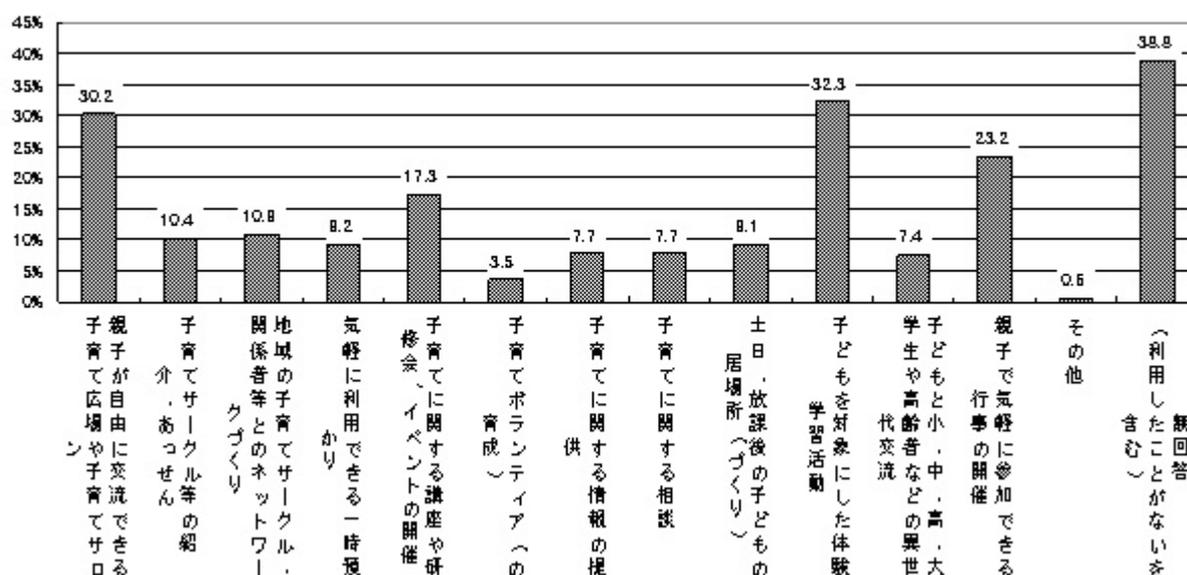
(3)子育て中の親の利用内容

それでは、子育て中の親や子どもに利用されている子育て支援はどうであるかをみると、「子どもを対象にした体験学習」(32.3%)、「親子が自由に交流できる子育て広場や子育てサロン」(30.2%)、「親子が気軽に参加できる行事」(23.2%)が上位にあげられているが、これらはいずれも2～3割程度である。

利用したことがあるもののうち1割に満たないものは、「気軽に利用できる一時預かり」(9.2%)、「土日・放課後の子どもの居場所」(9.1%)、「子育てに関する情報の提供」(7.7%)、「子育てに関する相談」(7.7%)、「子どもと小・中・高・大学生や高齢者などの異世代交流」(7.4%)、「子育てボランティア」(3.5%)である。

最も多い回答は、支援活動の有無に関係なく利用したことがないを含む「無回答」で38.8%であった。(図表5-1-6)

図表5-1-6 地域活動・ボランティア活動による子育て支援の利用 (複数回答 n=12,895)



親の利用について、子どもの学齢別にみると、未就園児のみでは、「親子が自由に交流できる子育て広場や子育てサロン」が44.0%と最も高いが、その他は2割に満たない。

未就園児 + 保育・幼稚園児でも、「親子が自由に交流できる子育て広場や子育てサロン」が34.2%と最も高いが、その他は2割に満たない。

保育園・幼稚園児のみでも、やはり「親子が自由に交流できる子育て広場や子育てサロン」が32.1%と最も高いが、その他は2割に満たない。

保育・幼稚園児 + 小学生以上では、「子どもを対象にした体験学習活動」が38.5%、「親子が自由に交流できる子育て広場や子育てサロン」が29.1%、「親子が気軽に参加できる行事」が26.5%だが、その他は2割に満たない。

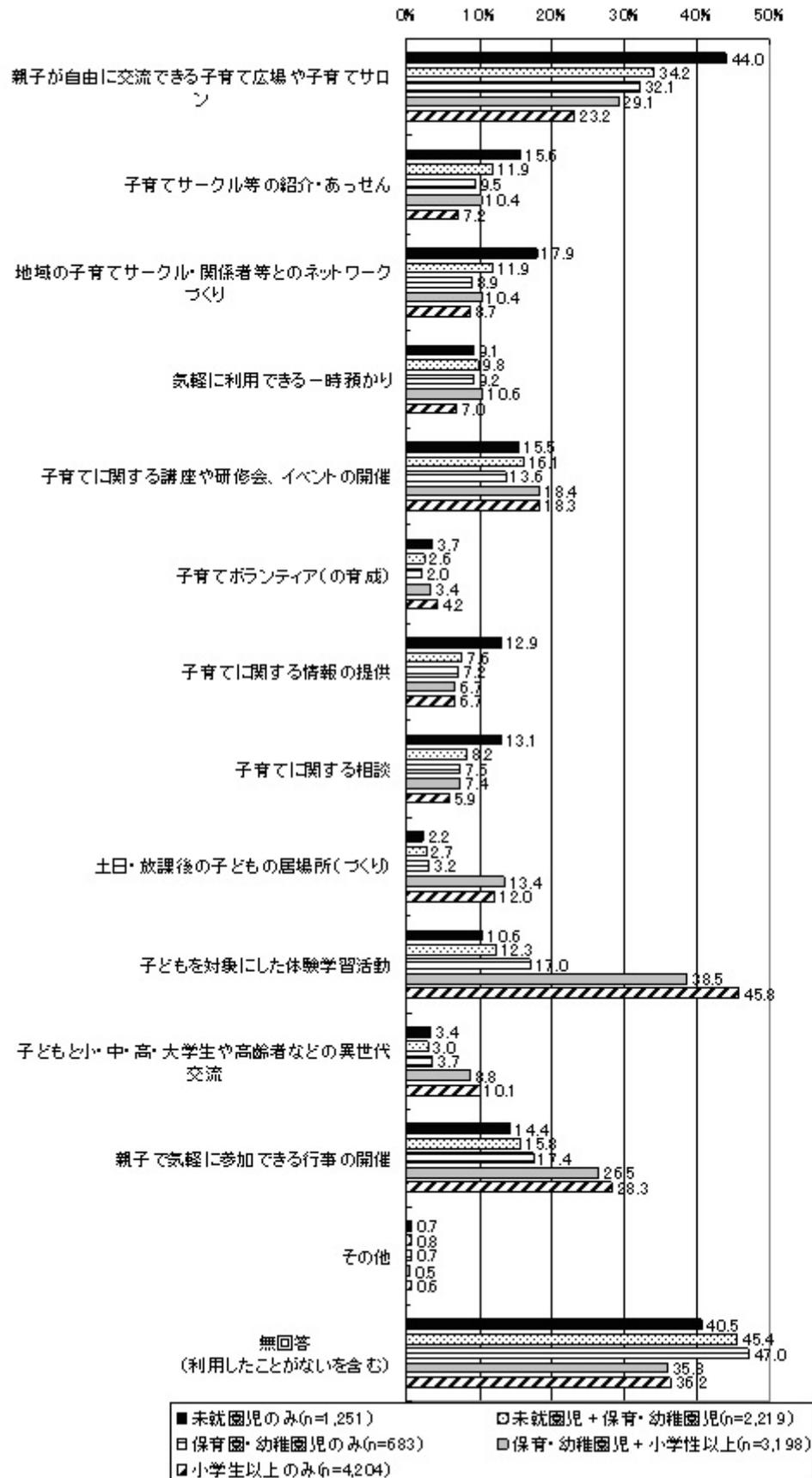
小学生以上のみでは、「子どもを対象にした体験学習活動」が45.8%と最も高く、「親子が気軽に参加できる行事」が28.3%、「親子が自由に交流できる子育て広場や子育てサロン」が23.2%だが、やはりその他は2割に満たない。

利用したことがないを含む無回答は、保育園・幼稚園児のみで47.0%、未就園児 + 保育・幼稚園児で45.4%、未就園児のみで40.5%、小学生以上のみで36.2%、保育・幼稚園児 + 小学生以上で35.8%である。

学齢が低くなるほど利用されている割合が高いものは、「親子が自由に交流できる子育て広場や子育てサロン」(未就園児のみ44.0%、未就園児 + 保育・幼稚園児34.2%、保育園・幼稚園児のみ32.1%、保育・幼稚園児 + 小学生以上29.1%、小学生以上のみ23.2%)と「地域の子育てサークル・関係者等とのネットワークづくり」(未就園児のみ17.9%、未就園児 + 保育・幼稚園児11.9%、保育園・幼稚園児のみ8.9%、保育・幼稚園児 + 小学生以上10.4%、小学生以上のみ8.7%)である。

学齢が高くなるほど利用されている割合が高いものは、「子どもを対象にした体験学習活動」(小学生以上のみ45.8%、保育・幼稚園児 + 小学生以上38.5%、保育園・幼稚園児のみ17.0%、未就園児 + 保育・幼稚園児12.3%、未就園児のみ10.6%)と「親子で気軽に参加できる行事の開催」(小学生以上のみ28.3%、保育・幼稚園児 + 小学生以上26.5%、保育園・幼稚園児のみ17.4%、未就園児 + 保育・幼稚園児15.8%、未就園児のみ14.4%)である。(図表5 - 1 - 7)

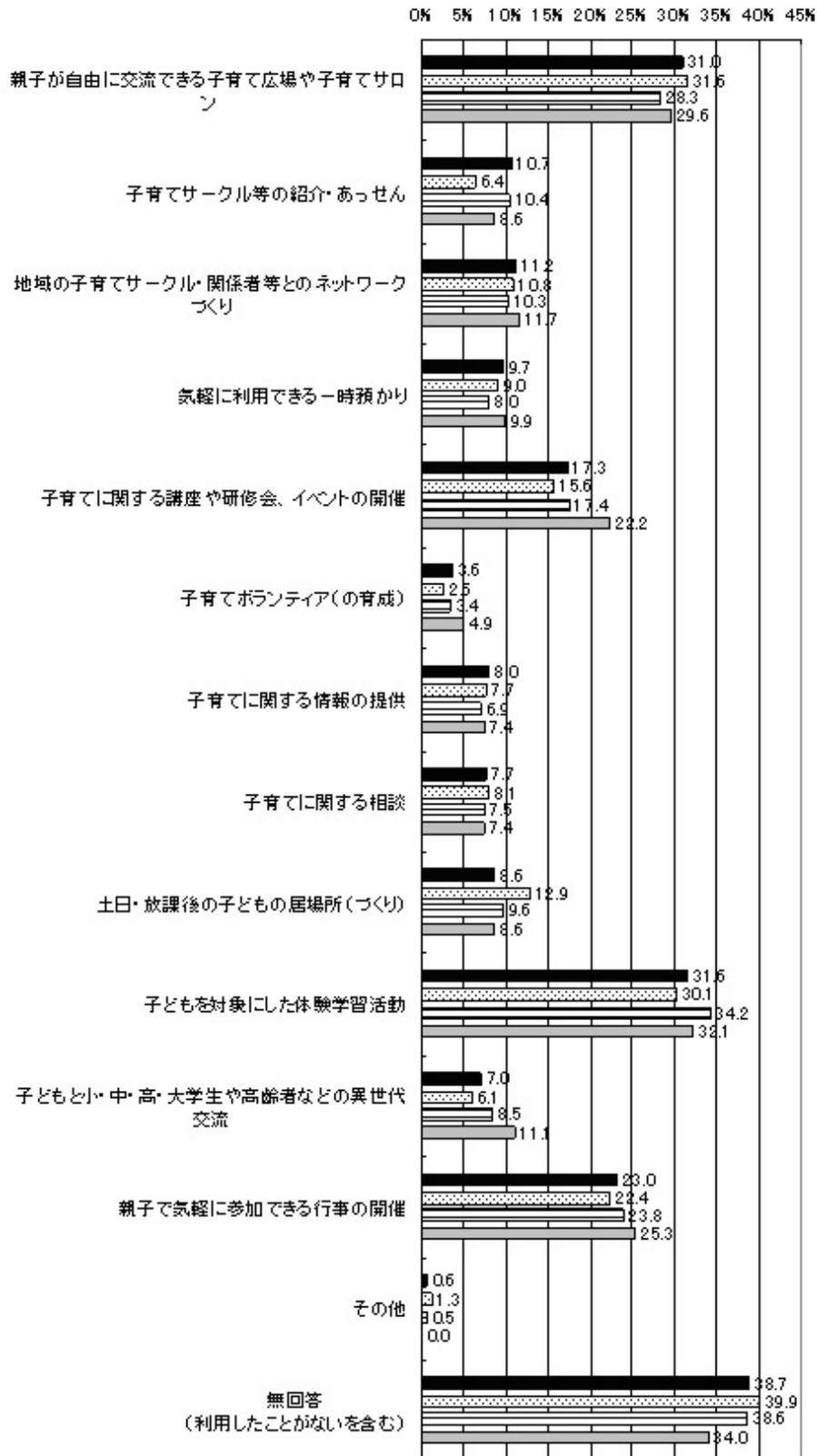
図表5-1-7 地域活動・ボランティア活動による子育て支援の利用
【子どもの年齢別】（複数回答）



また、親の利用について、居住地別にみても、上位三項目はいずれも、「子どもを対象にした体験学習活動」(町 34.2%、村 32.1%、市 31.6%、区 30.1%)、「親子が自由に交流できる子育て広場や子育てサロン」(区 31.6%、市 31.0%、村 29.6%、町 28.3%)、「親子が気軽に参加できる行事」(村 25.3%、町 23.8%、市 23.0%、区 22.4%)であり、その他のものは村での「子育てに関する講座や研修会、イベントの開催」(22.2%)を除き、2割に満たない。特に「子育てボランティア」(村 4.9%、市 3.6%、町 3.4%、区 2.6%)、「子育てに関する情報の提供」(市 8.0%、区 7.7%、村 7.4%、町 6.9%)、「子育てに関する相談」(区 8.1%、市 7.7%、町 7.5%、村 7.4%)、「気軽に利用できる一時預かり」(村 9.9%、市 9.7%、区 9.0%、町 8.0%)では市区町村いずれでも1割以下である。

(図表5 - 1 - 8)

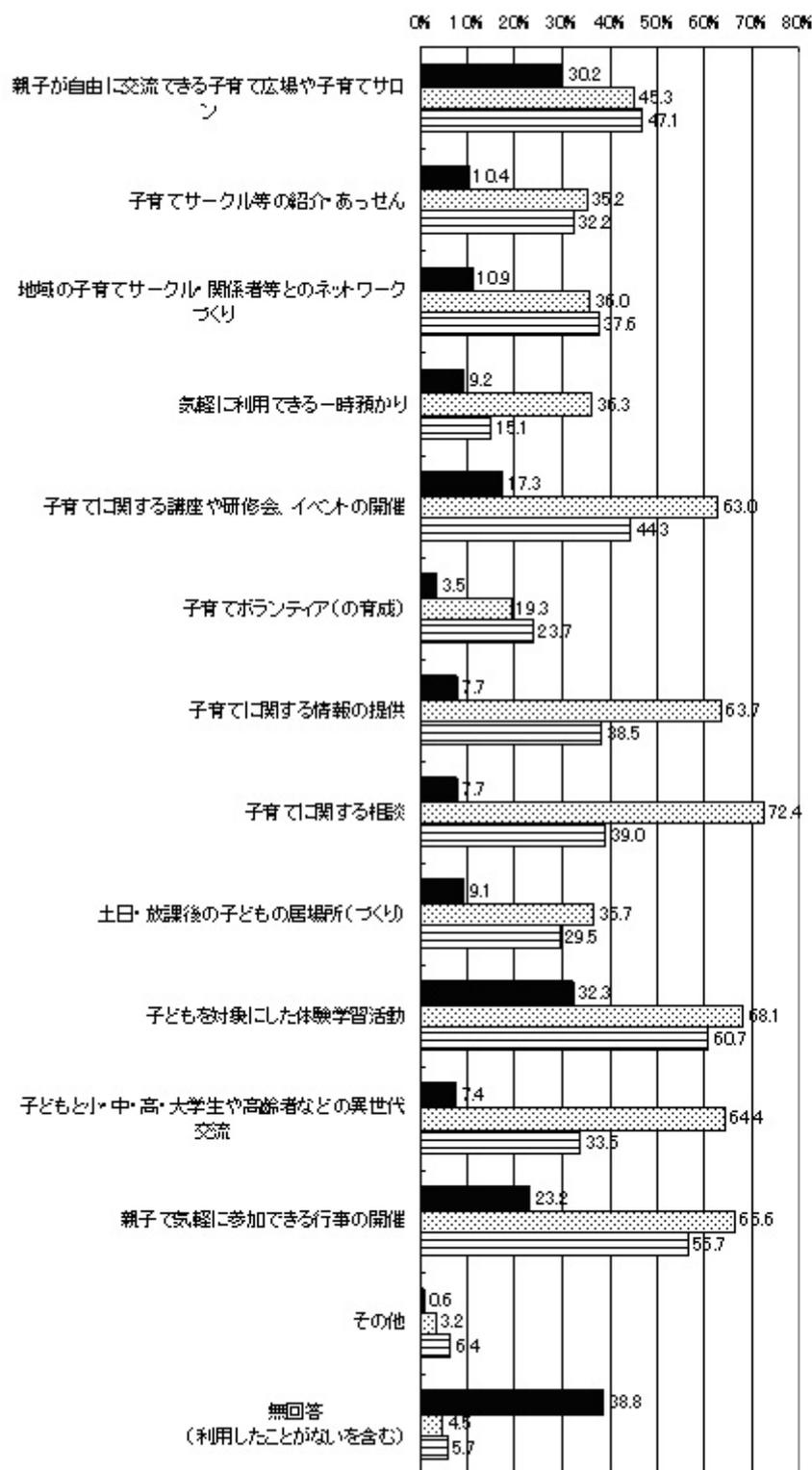
図表5-1-8 地域活動・ボランティア活動による子育て支援の利用
【居住地別】（複数回答）



■市(n=8,312) □区(n=621) ▨町(n=3,626) □村(n=162)

親の利用と保育・教育関係者および地域活動グループでの実施を比較すると、図表5-1-9の通りである。特に利用と実施に差がみられるものは、「子育てに関する相談」、「子育てに関する情報の提供」、「子どもと小・中・高・大学生や高齢者などの異世代交流」である。

図表5-1-9 子育て支援の利用と実施（複数回答）



■親の利用(n=1,289) □保育・教育関係者で実施(n=662) ▨地域活動グループで実施(n=628)

地域的に実施されていない子育て支援もあると考えられるが、地域活動に対する自由意見の中に「どこでどのようなサービスが行われているのか知らない」「情報がなさすぎる」などの意見が多数みられたこと（第6章参照）からもうかがえるように、必ずしも子育て支援を必要としている人に必要としている子育て支援が届いているとはいえないようである。

2. 今後期待する子育て支援について

現在実施されている子育て支援と利用の関係はこれまでみてきたとおりだが、次に、現在実施している支援と今後充実が期待されている支援を比較する。

(1) 地域活動グループの実施と親、保育・教育関係者からの期待

まず地域活動グループが実施している支援と、親や保育・教育関係者が今後期待している支援についてみる。地域活動グループが実施している支援では「子どもを対象にした体験学習活動」(56.7%)が最も多く、これには親では59.5%の期待があり、保育・教育関係者では69.0%の期待がある。

一方で、現在地域活動で取り組まれている割合が低いものへの期待として、「土日・放課後の子どもの居場所づくり」があげられる。地域活動グループでの現在の実施率は29.5%だが、親の期待は49.5%で、「子どもを対象にした体験学習活動」に次いで二番目に親から期待されているものである。また、保育・教育関係者からの期待も51.7%で、「子どもを対象にした体験学習活動」「子育てボランティアの育成」に次いで三番目に保育・教育関係者から期待されているものである。

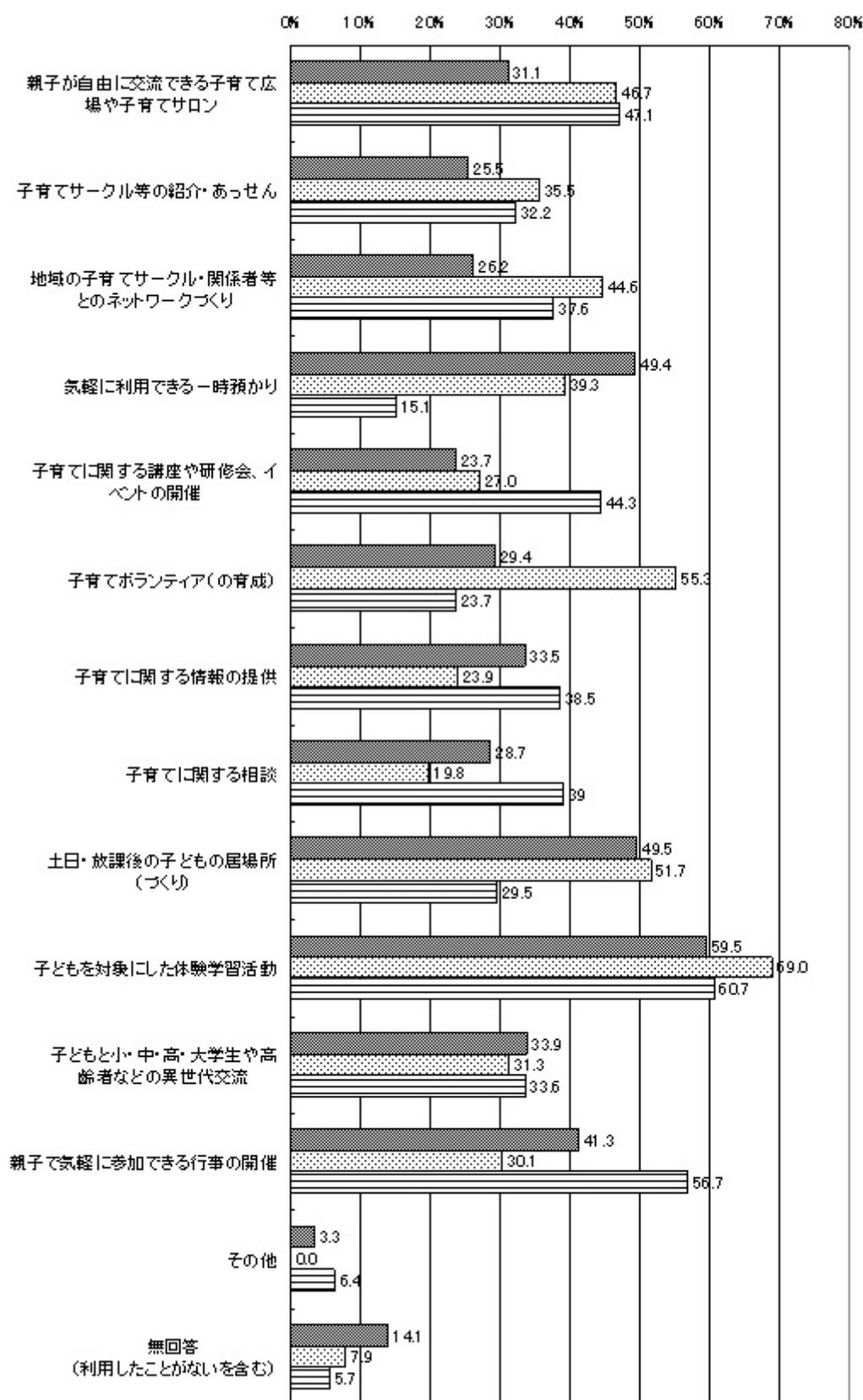
また、地域活動グループでの実施率が15.1%と最も低かった「気軽に利用できる一時預かり」は、親からの期待が49.4%あって、三番目に期待されており、保育・教育関係者からも39.3%の期待がある。

保育・教育関係施設での実施率が19.3%と最も低かった「子育てボランティアの育成」には、保育・教育関係者から地域活動グループに対して55.3%の期待が寄せられている。これは保育・教育関係者の期待の中で二番目に期待されているものである。

「子育てに関する講座や研修会、イベントの開催」は地域活動グループでの実施率が44.3%だったが、親からの期待は23.7%、保育・教育関係者からの期待は27.0%だった。

(図表5 - 1 - 10)

図表5-1-10 親、保育・教育関係者の期待と地域活動グループの実施（複数回答）



■ 親の期待(n=12,895) □ 保育・教育関係者からの地域活動への期待(n=662) ▨ 地域活動グループの実施(n=628)

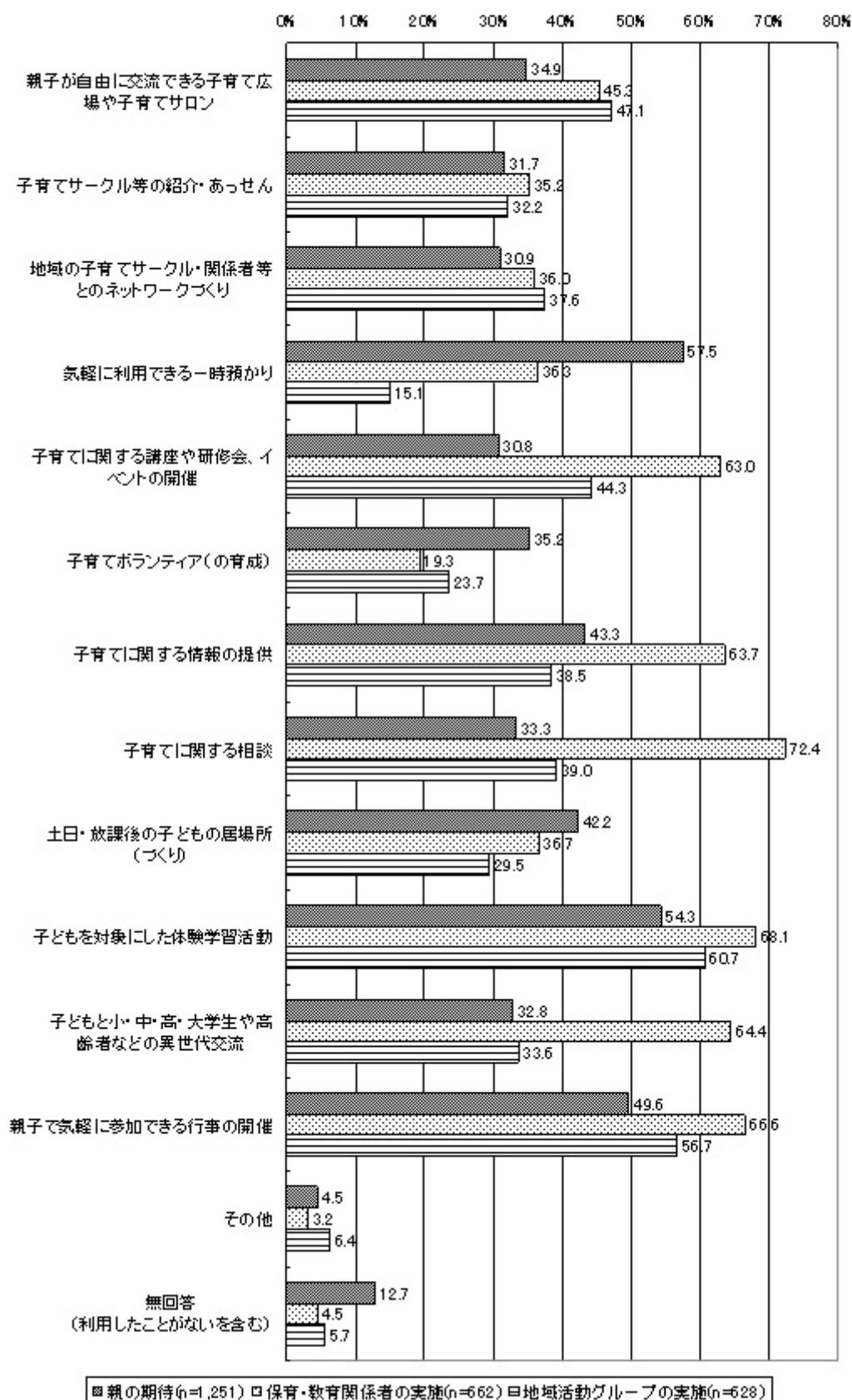
(2) 親の期待と保育・教育関係者、地域活動グループの実施内容

さらに、子どもの学齢別に親の期待と保育・教育関係者、地域活動グループの実施している内容をみる。

未就園児のみでは、「気軽に利用できる一時預かり」への期待が57.5%と最も高いが、保育・教育関係施設での実施は36.3%、地域活動グループでの実施は15.1%である。「土日・放課後の子どもの居場所づくり」への期待は42.2%あるが、保育・教育関係施設での実施は36.7%、地域活動グループでの実施は29.5%である。「子育てボランティアの育成」への期待は35.2%あるが、保育・教育関係施設での実施は19.3%、地域活動グループでの実施は23.7%である。

(図表 5 - 1 - 1 1)

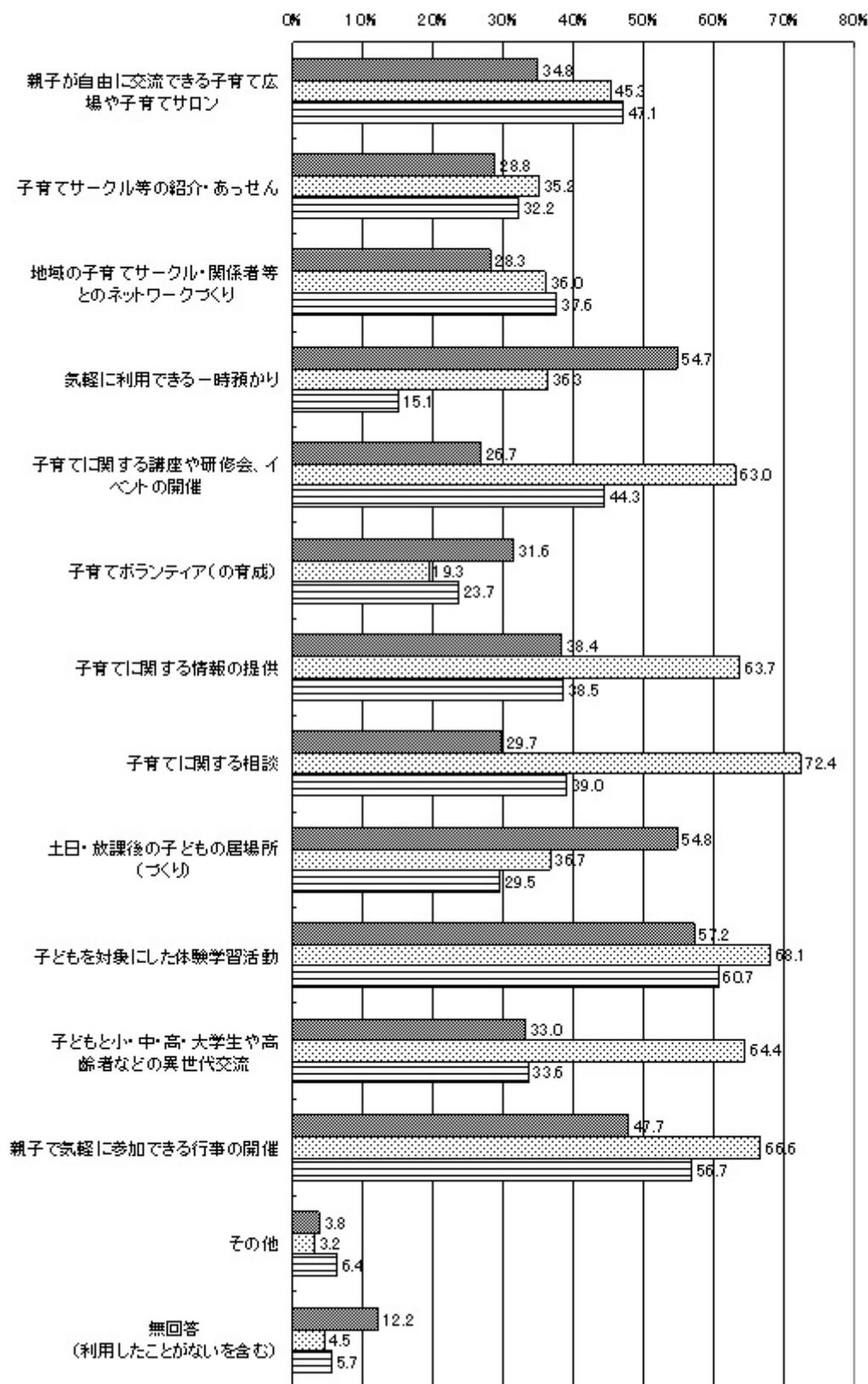
図表5-1-11 親の期待と保育・教育関係者、地域活動グループの実施
 【子どもの学齢:未就園児のみ】(複数回答)



未就園児＋保育・幼稚園児でも、「気軽に利用できる一時預かり」への期待が54.7%と二番目に高いが、保育・教育関係施設での実施は36.3%、地域活動グループでの実施は15.1%である。「土日・放課後の子どもの居場所づくり」への期待も54.8%あるが、保育・教育関係施設での実施は36.7%、地域活動グループでの実施は29.5%である。「子育てボランティアの育成」への期待も31.6%あるが、保育・教育関係施設での実施は19.3%、地域活動グループでの実施は23.7%である。

親からの期待が57.2%と最も高い「子どもを対象にした体験学習活動」は、地域活動グループの実施率は60.7%で、保育・教育関係施設の実施率は68.1%と、実施の努力をされていることがみてとれる。(図表5 - 1 - 12)

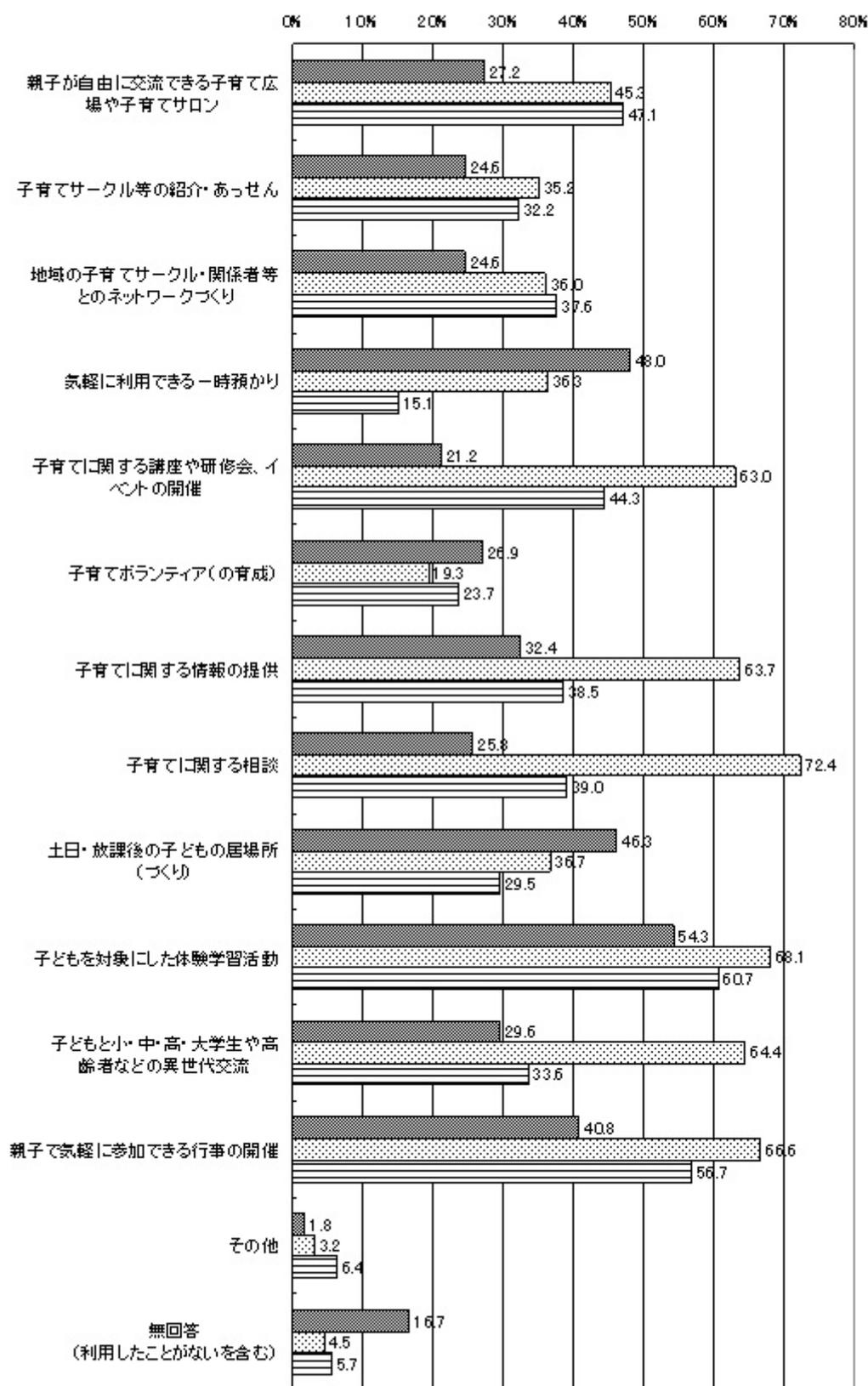
図表5-1-12 親の期待と保育・教育関係者、地域活動グループの実施
 【子どもの学齢：未就園児＋保育・幼稚園児】（複数回答）



■ 親の期待(n=2,219) □ 保育・教育関係者の実施(n=662) ▨ 地域活動グループの実施(n=628)

保育園・幼稚園児のみでも、「気軽に利用できる一時預かり」への期待が48.0%あるが、保育・教育関係施設での実施は36.3%、地域活動グループでの実施は15.1%である。「土日・放課後の子どもの居場所づくり」への期待も46.3%あるが、保育・教育関係施設での実施は36.7%、地域活動グループでの実施は29.5%である。(図表5 - 1 - 13)

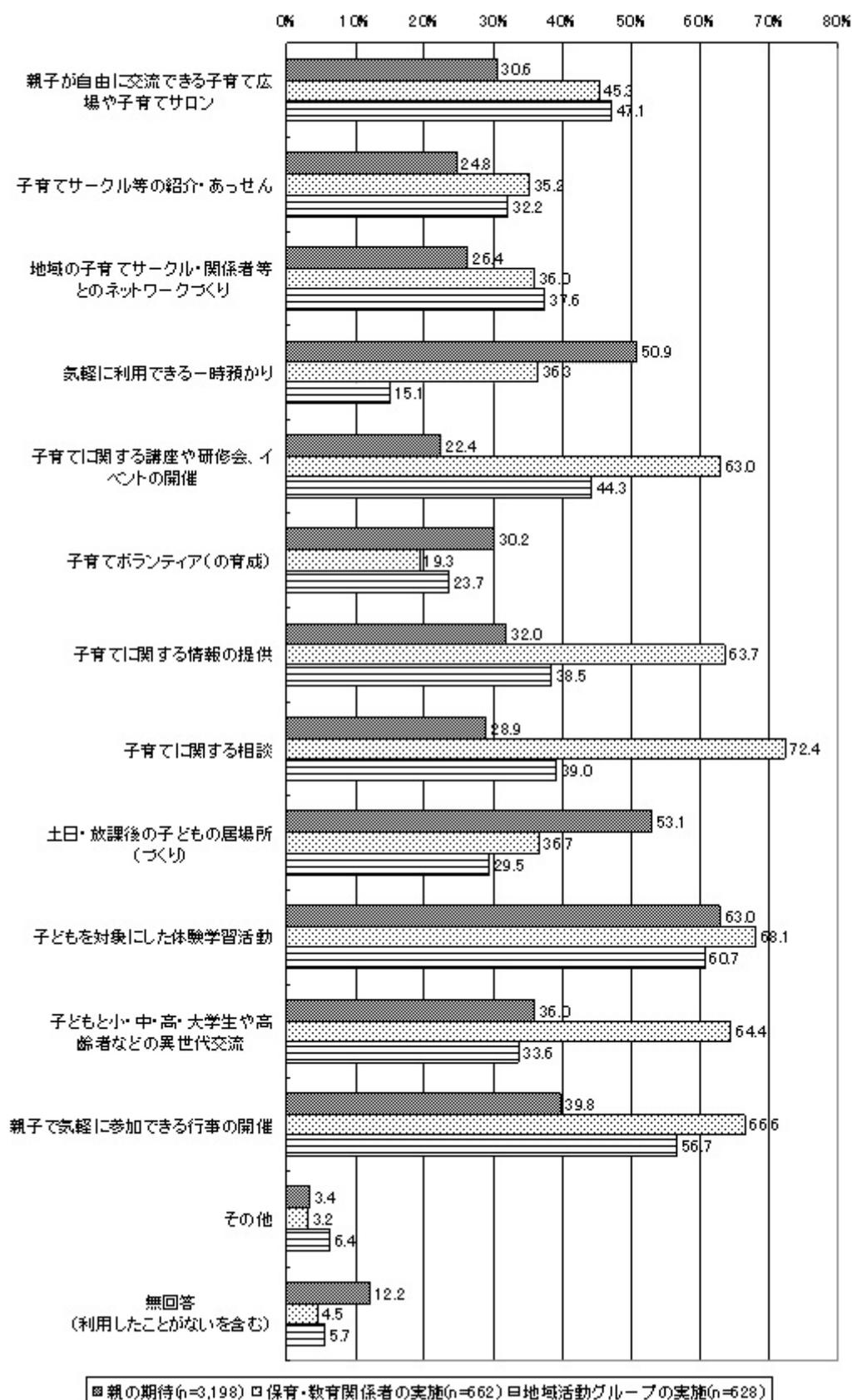
図表5-1-13 親の期待と保育・教育関係者、地域活動グループの実施
 【子どもの年齢：保育園・幼稚園児のみ】（複数回答）



■親の期待(n=683) □保育・教育関係者の実施(n=662) ▨地域活動グループの実施(n=628)

保育・幼稚園児＋小学生以上でも、「気軽に利用できる一時預かり」への期待が 50.9%あるが、保育・教育関係施設での実施は 36.3%、地域活動グループでの実施は 15.1%である。「土日・放課後の子どもの居場所づくり」への期待も 53.1%あるが、保育・教育関係施設での実施は 36.7%、地域活動グループでの実施は 29.5%である。「子育てボランティアの育成」への期待も 30.2%あるが、保育・教育関係施設での実施は 19.3%、地域活動グループでの実施は 23.7%である。
(図表 5 - 1 - 1 4)

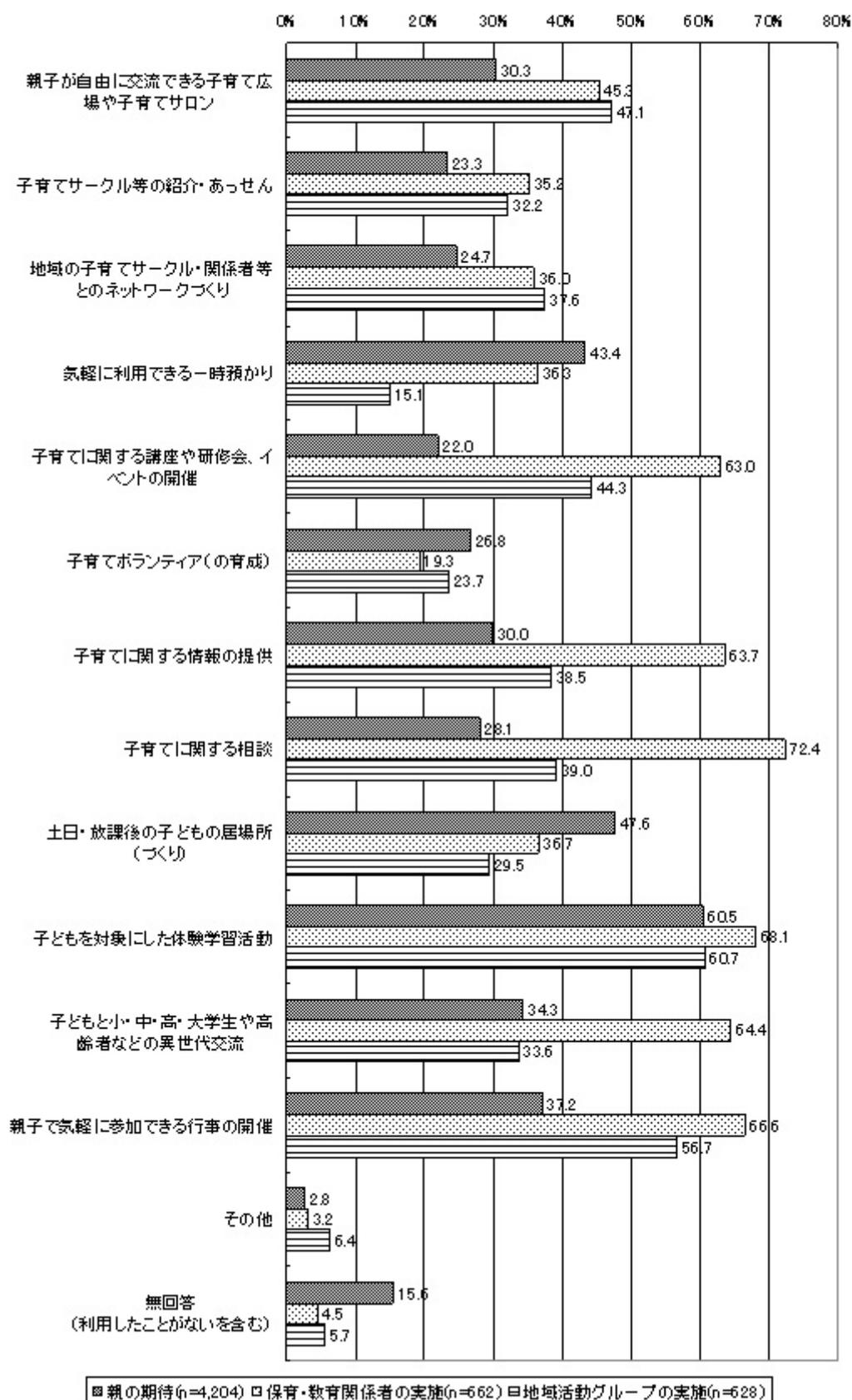
図表5-1-14 親の期待と保育・教育関係者、地域活動グループの実施
 【子どもの学齢：保育・幼稚園児＋小学生以上】（複数回答）



小学生以上のみでも、「気軽に利用できる一時預かり」への期待が43.4%あるが、保育・教育関係施設での実施は36.3%、地域活動グループでの実施は15.1%である。「土日・放課後の子どもの居場所づくり」への期待は47.6%あるが、保育・教育関係施設での実施は36.7%、地域活動グループでの実施は29.5%である。(図表5 - 1 - 15)

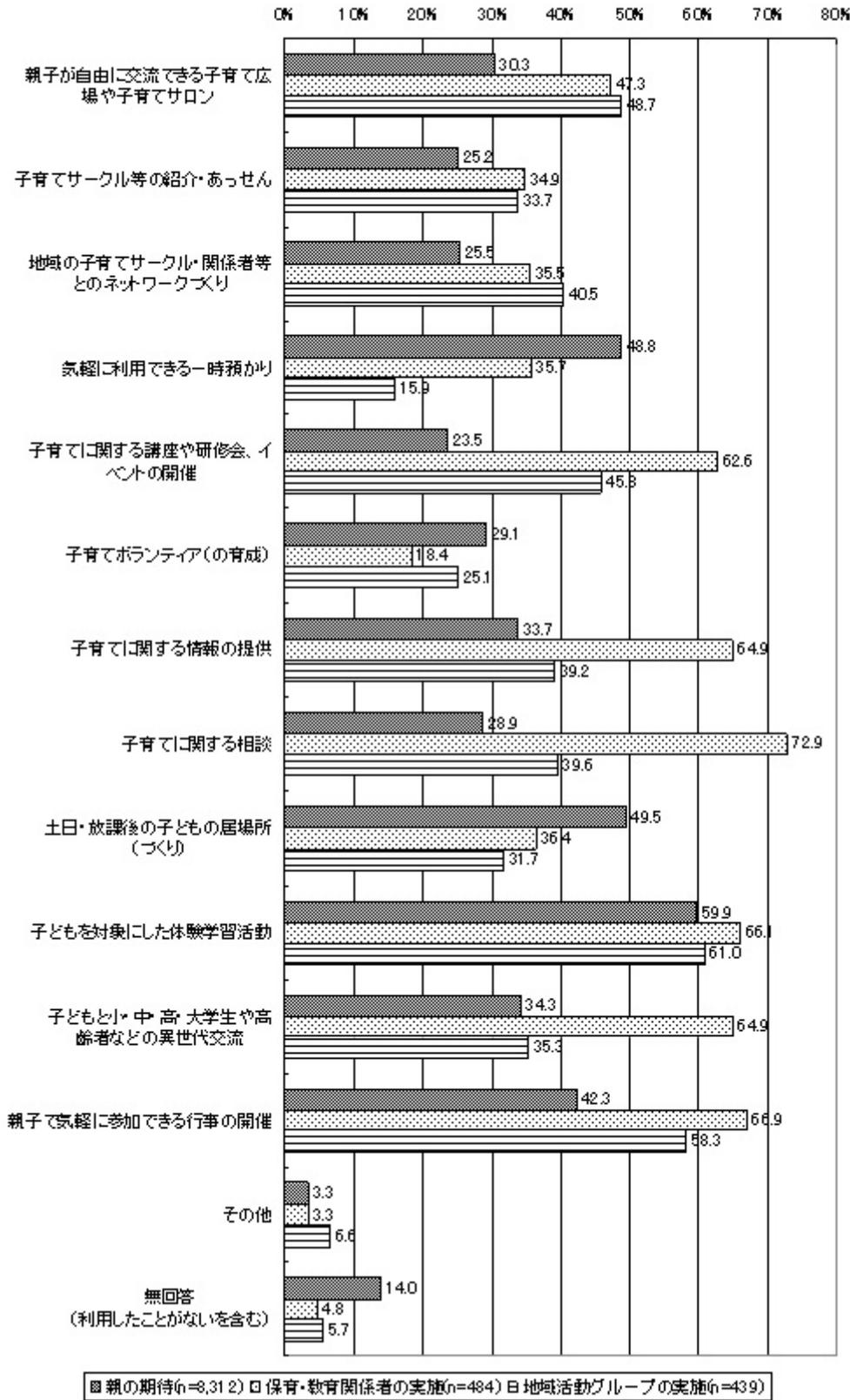
このようにどの学齢においても、「気軽に利用できる一時預かり」と「土日・放課後の子どもの居場所づくり」への親の期待の高さと保育・教育関係者および地域活動グループの実施の割合の低さのギャップがうかがえる。

図表5-1-15 親の期待と保育・教育関係者、地域活動グループの実施
 【子どもの学齢：小学生以上のみ】（複数回答）



次に、居住地別に親の期待と保育・教育関係者、地域活動グループの実施している内容をみる。
市部に住んでいる親では、「気軽に利用できる一時預かり」への期待が 48.8%あるが、市区部の保育・教育関係施設での実施は 36.3%、また市区部の地域活動グループでの実施は 15.1%である。「土日・放課後の子どもの居場所づくり」への期待は 49.5%あるが、市区部の保育・教育関係施設での実施は 36.7%、市区部の地域活動グループでの実施は 29.5%である。
(図表 5 - 1 - 16)

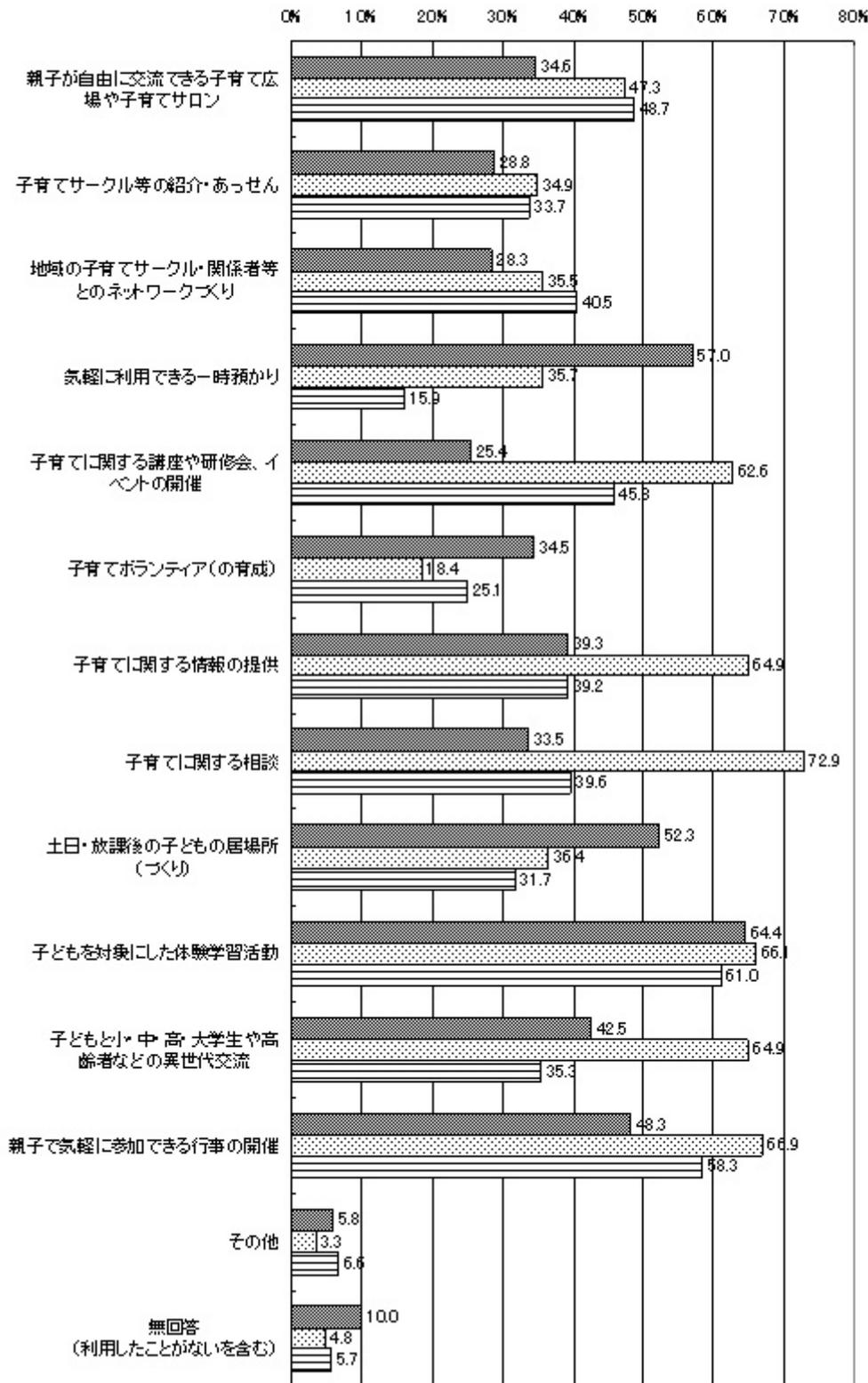
図表5-1-16 親の期待と保育・教育関係者、地域活動グループの実施
 【居住地・施設所在地：市】（複数回答）



親は市のデータ、保育・教育関係者および地域活動グループは市区のデータを使用。

区部に住んでいる親でも、「気軽に利用できる一時預かり」への期待が 57.0%あるが、市区部の保育・教育関係施設での実施は 36.3%、市区部の地域活動グループでの実施は 15.1%である。「土日・放課後の子どもの居場所づくり」への期待も 52.3%あるが、市区部の保育・教育関係施設での実施は 36.7%、市区部の地域活動グループでの実施は 29.5%である。「子育てボランティアの育成」への期待は 34.5%あるが、市区部の保育・教育関係施設での実施は 19.3%、市区部の地域活動グループでの実施は 23.7%である。(図表 5 - 1 - 17)

図表5-1-17 親の期待と保育・教育関係者、地域活動グループの実施
 【居住地・施設所在地：区】（複数回答）

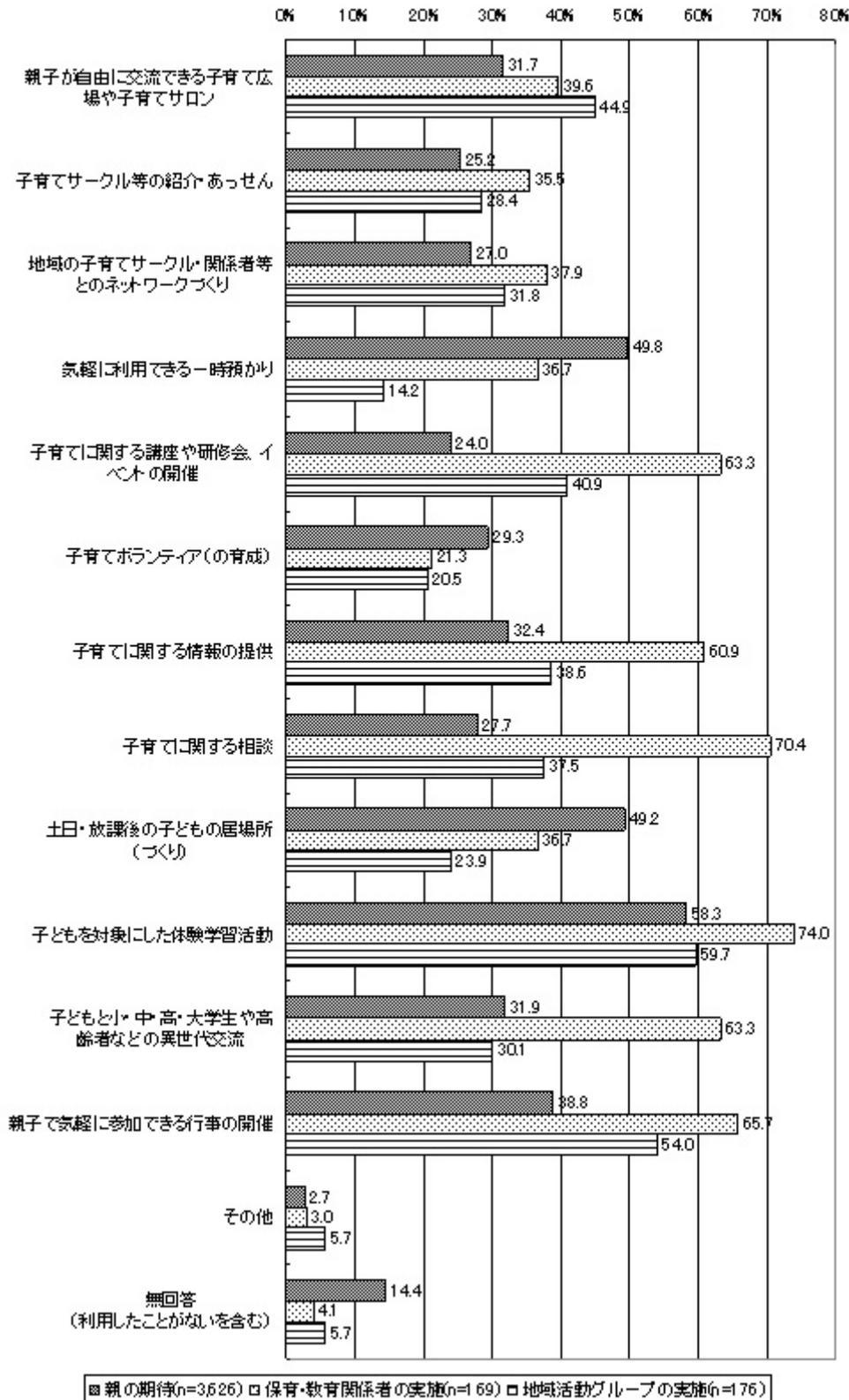


■親の期待(n=621) □保育・教育関係者の実施(n=484) ▨地域活動グループの実施(n=439)

親は区のデータ、保育・教育関係者および地域活動グループは市区のデータを使用。

町部に住んでいる親でも、「気軽に利用できる一時預かり」への期待が 49.8%あるが、町村部の保育・教育関係施設での実施は 36.3%、町村部の地域活動グループでの実施は 15.1%である。
「土日・放課後の子どもの居場所づくり」への期待も 49.2%あるが、町村部の保育・教育関係施設での実施は 36.7%、町村部の地域活動グループでの実施は 29.5%である。(図表 5 - 1 - 1 8)

図表5-1-18 親の期待と保育・教育関係者、地域活動グループの実施
 【居住地・施設所在地：町】（複数回答）

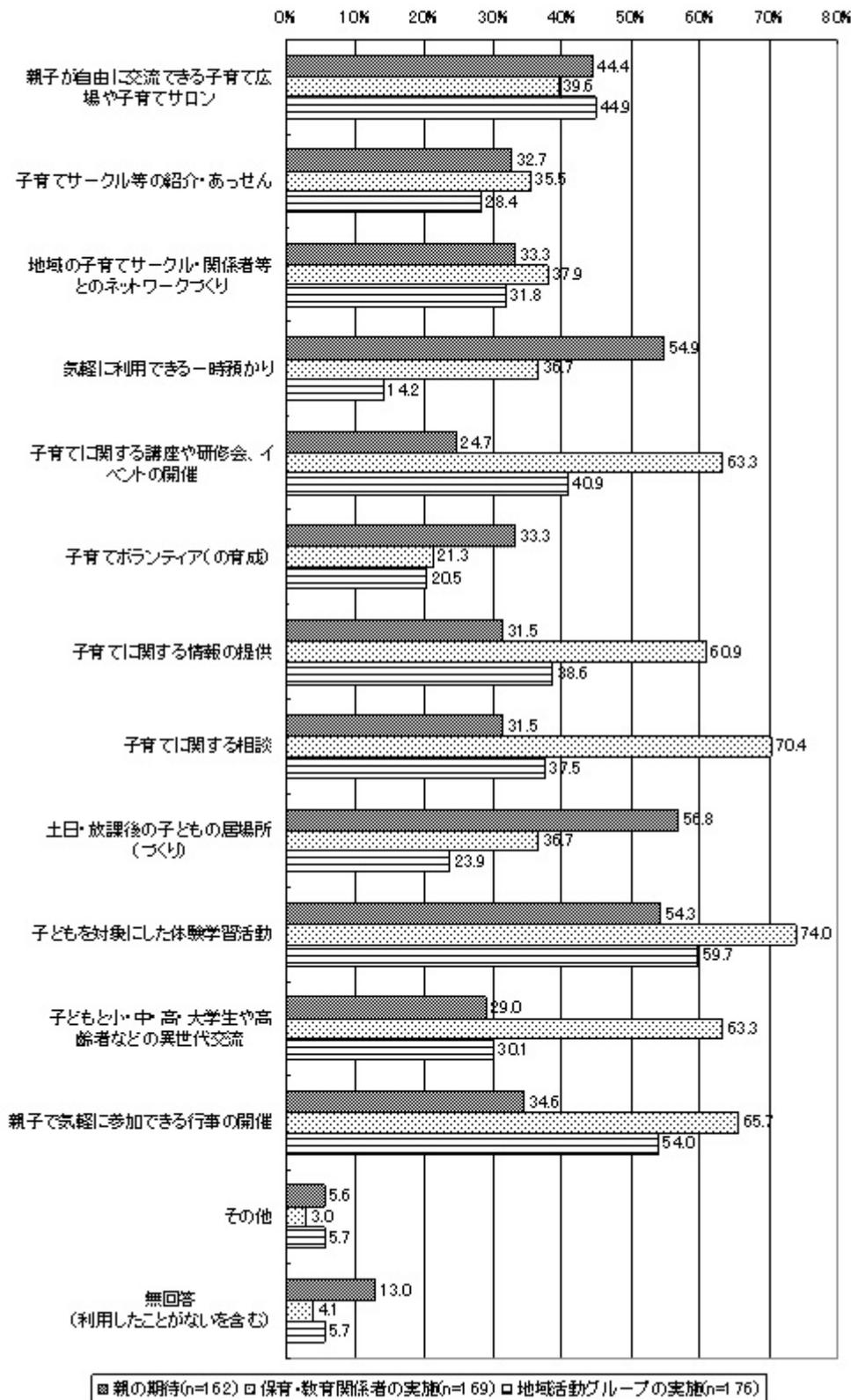


親は町のデータ、保育・教育関係者および地域活動グループは町村のデータを使用。

村部に住んでいる親でも、「気軽に利用できる一時預かり」への期待が 54.9%あるが、町村部の保育・教育関係施設での実施は 36.3%、町村部の地域活動グループでの実施は 15.1%である。「土日・放課後の子どもの居場所づくり」への期待も 56.8%あるが、町村部の保育・教育関係施設での実施は 36.7%、町村部の地域活動グループでの実施は 29.5%である。「子育てボランティアの育成」への期待は 33.3%あるが、町村部の保育・教育関係施設での実施は 19.3%、町村部の地域活動グループでの実施は 23.7%である。(図表 5 - 1 - 19)

以上、みてきたように、子育て中の親が今後充実を期待している子育て支援は、子どもの学齢や地域性によって異なるが、「気軽に利用できる一時預かり」と「土日・放課後の子どもの居場所づくり」において、期待する割合と実施率に格差があることがわかる。

図表5-1-19 親の期待と保育・教育関係者、地域活動グループの実施
 【居住地・施設所在地：村】（複数回答）



親は村のデータ、保育・教育関係者および地域活動グループは町村のデータを使用。

(3) 保育・教育関係者と地域活動グループの相互の期待

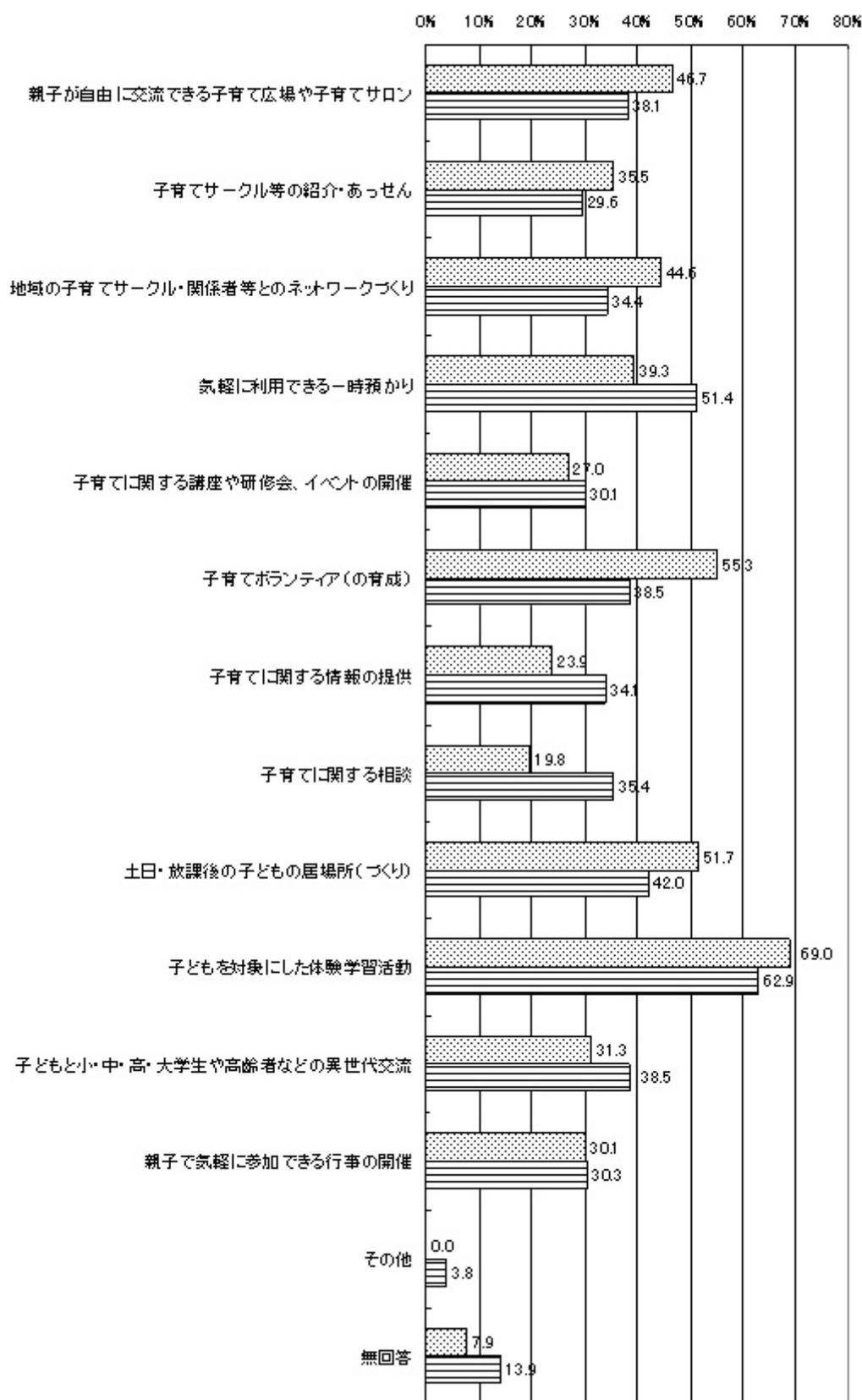
最後に保育・教育関係者が地域活動グループに期待するものと地域活動グループが保育・教育関係者に期待するものを比べてみる。

保育・教育関係者と地域活動グループともに「子どもを対象にした体験学習活動」への期待が最も割合が高く、それぞれ69.0%と62.9%でお互いに期待するところが大きいといえよう。

保育・教育関係者の期待が地域活動グループの期待を上回ったものは、「子育てボランティアの育成」(保育・教育関係者55.3%、地域活動グループ38.5%)、「地域の子育てサークル・関係者等とのネットワークづくり」(保育・教育関係者44.6%、地域活動グループ34.4%)、「土日・放課後の子どもの居場所づくり」(保育・教育関係者51.7%、地域活動グループ42.0%)、「親子が自由に交流できる子育て広場や子育てサロン」(保育・教育関係者46.7%、地域活動グループ38.1%)、「子育てサークル等の紹介・あっせん」(保育・教育関係者35.5%、地域活動グループ29.6%)であり、保育・教育関係者は、自分の限界をわきまえて地域活動グループに期待するところが大きいといえるのではなかろうかと推測される。

地域活動グループの期待が保育・教育関係者の期待を上回ったものは、「子育てに関する相談」(地域活動グループ35.4%、保育・教育関係者19.8%)、「気軽に利用できる一時預かり」(地域活動グループ51.4%、保育・教育関係者39.3%)、「子育てに関する情報の提供」(地域活動グループ34.1%、保育・教育関係者23.9%)、「子どもと小・中・高・大学生や高齢者などの異世代交流」(地域活動グループ38.5%、保育・教育関係者31.3%)、「子育てに関する講座や研修会、イベントの開催」(地域活動グループ30.1%、保育・教育関係者27.0%)で、地域活動グループは、活動の限界を感じ、自分たちよりも保育・教育関係者のほうが対応できるのではないかと考えているといえるのではなかろうかと推測される。(図表5-1-20)

図表5-1-20 保育・教育関係者、地域活動グループそれぞれの期待（複数回答）



□ 保育・教育関係者からの地域活動への期待(n=662) □ 地域活動からの保育・教育関係者への期待(n=628)